

のようでした。

大北電信退職のあと、戦時中は貿易統制会関係に、戦後はベルギー人経営の貿易商社に勤め、昭和三十五年頃まで働いたあと、しばしば鈴木時代を回想しつつ、商社の私的年金制度で余年を送りました。

鈴木商店については、例の焼討ち事件や倒産などについて、多くの経済門書は、悪意に充ちた記述でもなく、しかしまた非常に好意的な見方でもなく、あいまいな評価に終わっている例が多いようですが、城山三郎氏や桂芳男教授などのご努力により、かなり真相が解明されたことは、誠に慶ばしいことであり、これらの方々のご努力に感謝するとともに、直接鈴木商店に関係された方々にも現在尚かなり多数ご健在でいられることは何よりで、既に『たつみ』誌にもかなり執筆されているようですが、高畑様が昭和四十七年十月十五日から十一月九日までの間、二十六回にわたり、日経新聞の「私の履歴書」に書かれた内容を更に補完する意味で、今後とも当時を

回顧して健康を揮われることを、期待してやみません。

そしてそのためにも、この辰巳会のますますご発展を心からお祈り申し上げます。



平成5年全国大会の御案内

—金子直吉翁50年祭祝いについて—

来年（平成5年）は、直吉翁が亡くなられて50年にあたり辰巳会といたしましては、全国大会において、金子翁の80年祭祝いを左記の通り取り行なう企画準備中でございますので、皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

本部幹事一同

記

とき 平成5年5月20日(木)

ところ 神戸「長田神社」

神戸市長田区长田町3丁目1-1